

## ポトマック桜陰の立役者

## 高峰譲吉の生涯描く

横浜で  
上映 市川徹監督が映画化

サムライ化学者。高峰譲吉の生涯が、横浜市鶴見区在住の市川徹監督により映画化された。高峰は、米国の首都・ワシントンのポトマック河畔に桜並木をつくった陰の立役者。植樹100周年を記念したこの桜の「里帰り歓迎プロジェクト」に先駆けて、ゆかりの横浜でも5日から上映されている。

映画のタイトルは「さくら、さくら—サムライ化学者 高峰譲吉の生涯—」(上

映時間133分)。主演は加藤雅也さんとナオミ・グレースさん。高峰が1884年に29歳で単身渡米し、差別や貧困にめげず世界の化学の礎となる発明を次々と行い、経済発展にも寄与した生涯を描く。

そこに彩りを添えるのが、妻キャロラインとの出会いと、ポトマック河畔に

「高峰譲吉の生き方に魅了された」と語る市川監督

—横浜市中区

植える桜の苗木の購入資金提供のエピソードだ。当時の米大統領夫人に桜並木の実現を働き掛け、今は横浜外国人墓地に眠る紀行作家エリザ・R・シドモアも登場し、横浜港からの苗木積み出し風景も再現される。

市川監督はtvk(テレビ神奈川)を経て独立。富

山県出身の実業家浅野総一郎を描いた映画「九転十起の男」の撮影がきっかけで、同県人の高峰に興味を持ち、その生き方に魅了されて「さくら、さくら」では企画・プロデュースも手掛けた。

「さくら、さくら」は、5日から銀座シネパトス、横浜ニューテアトルなどでロードショー公開されている。2012年のポトマック桜植樹100周年を記念して、横浜では桜の「里帰り歓迎プロジェクト」の準備がスタートしたが、それに先駆けて高峰やシドモアが銀幕に帰ってきた。

(松本 努)

